

# 図書館だより 第35号

## 鹿児島国際大学附属図書館報

The International University of Kagoshima Library

### 目次 Contents

- 「企業情報データベース“eol”を活用しましょう」今村 明代…… 2P
- 「新聞記事データベースの活用」佐々木 陽子 …………… 3P
- 「グループ学習室の求心力」野中 哲照 …………… 4P
- 図書館サポーター活動報告 …………… 5P
- あなたのお悩み解決し隊!! …………… 6～7P  
(第11回：Cinii (サイニイ) の使い方)
- Library Report …………… 7～8P





## 企業情報データベース“eol”を活用しましょう

経済学部経営学科 今村 明代

本学図書館には、「総合企業情報データベース“eol”」(以下、“eol”)が装備されています。“eol”は、有価証券報告書はもとより、さまざまな角度から企業の財務情報や非財務情報を提供するデータベースであり、調べたい企業に関する総合的な情報をかなり詳しく得ることができます。学生にとっても使いやすく、就職活動のための企業研究にも活用が期待されるものです。

有価証券報告書だけについて言えば、金融庁の「金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示書類に関する電子開示システム(EDINET=Electronic Disclosure for Investors' NETwork)」で、直近の5年間分は閲覧可能です。ただし、それ以前の有価証券報告書を利用したいときには“eol”に頼らざるを得ません。たとえば、トヨタ自動車は1961年3月期からの53年分、任天堂は1971年8月期から43年分のデータを見ることができます。非上場企業であっても、たとえば南国殖産や日本瓦斯は、1990年9月期から24年分の有価証券報告書が入手できます。これらのデータを加工して表やグラフを作成し、ある企業を時系列的に分析できるだけでなく、企業間のデータ比較も可能です。XBRL(eXtensible Business Reporting Language)にも対応しているため、国際会計基準が導入されたあかつきには、世界各国の企業データを比較することも容易になると考えられます。

私は、現在、基礎演習、演習、経営分析論、大学院講義で“eol”を大いに活用しています。経営分析論の講義では、学生諸君に自ら選択した企業の財務・非財務データを“eol”から収集してもらい、その企業の収益性や安全性を分析しています。演習にはデータベースの利用は必要不可欠ですが、“eol”、あるいは数年前まで利用可能であった日立ハイテクの「NEXT有報革命」なくしては作成できなかった卒業論文をいくつか紹介します。

「プロ野球球団所有企業の変遷」を卒業論文のテーマに選んだ2012年度のゼミ生Aさんは、球団を所有することが企業にとってどのようなメリットがあるのかを考察するために、ダイエーと、ダイエーから球団を引き継いだソフトバンクを対象として分析を行いました。ダイエーについては球団を買収した1988年から2009年までの22年間、ソフトバンクについては1991年から2012年までの22年間の財務データを利用して、球団取得と本業との関係を詳細に分析

しました。また、「鹿児島の上場企業の分析—『企業倒産予測モデル』を利用して—」をテーマにしたBさんは、鹿児島県内上場企業11社について直近6年間のデータをもとに分析を行ったうえで、その中の2社についてはさらに10年間分の財務・非財務データを収集し、検討を加えています。

2013年度には“eol”に加え、当時はトライアルで利用可能であった「企業概要データベース“eol”日本の企業100万社」も利用した卒業論文が現れました。“eol”には有価証券報告書を提出した企業のデータが収録されていますが、「企業概要データベース“eol”日本の企業100万社」では有価証券報告書が公表されない企業に関する企業情報が収集されています。ゼミ生Cさんは、自分の就職活動先である鹿児島県内の十数社の企業分析を行いました。これらの企業は“eol”だけでは十分な情報が得られないため、この「企業概要データベース“eol”日本の企業100万社」を用いてデータを収集して卒業論文をまとめました。

“eol”の利用方法や活用方法等については、作成元の株式会社プロネクサスの担当者が年2回学内で説明会を開催していますので、はじめての利用者もとまどうことはありません。ちなみに今年は6月19日と12月4日に開催されました。“eol”が装備されている大学は、九州内では約10大学、全国では約130大学ですが、鹿児島県内では本学のみです。研究にも、学生の就職活動にも有用なツールである“eol”が設置されており、それを自由に使える環境にあることは、非常に恵まれたことと言えるでしょう。多くの学生諸君や教職員に活用していただければ幸いです。



eol説明会



## 新聞記事データベースの活用



福祉社会学部社会福祉学科 佐々木 陽子

今ほど新聞記事のデータベースが充実していなかった何年前までは、九州各地の大学図書館や公立図書館をまわって新聞記事を取得せねばならず、一苦勞でした。読売新聞の『ヨミダス』は明治・大正・昭和戦前期から今日までの記事をネットで検索できる唯一のもので大変便利です。しかし、その読売新聞のデータベースも何年前までは昭和期の十数年間が空白となっていました。したがって、この空白の時代についての記事を探すには、手作業で縮刷版をめくるしかなく、見落としがあることは防ぎようがありませんでした。論文執筆のために、この空白の時代の縮刷版がすべてそろっている熊本の大学で1週間ほどお世話になったことがあります。1年12冊ですから分厚い縮刷版に200冊以上あたねばならず、疲労感もすごく正直投げ出したい気持ちに襲われました。毎朝、親切な司書さんが机に縮刷版を山積みにして用意して待っていてくださりありがたかったのですが…。投稿した論文では縮刷版で検索した時代を記して、検索の不十分さを断っていますが、案の定、後にデータベース検索したものと突き合わせてみると、手仕事で集めた結果とはぶれがありました。あの1週間ほどの苦勞は忘れがたく、あらためてデータベースのありがたさが身に沁みます。本校の図書館では、読売新聞のほか朝日新聞や南日本新聞のデータベースに無料でアクセスできるため、各新聞社の記事を比較して論じることができます。論文を書くにあたり、あるキーワードを記事検索し、そ

れを時系列的に整理し分析することで、言葉の絵地図を描くことができます。例えば、今日当たり前に使用されている「団欒」という語は、明治・大正・戦前まで、庶民の用語ではなく、皇室・上流階級の独占物であったことは調べていくとすぐわかります。言葉は時代と共にその使用される対象や意味を変容させる「生き物」のようなものです。

読書の習慣がないために本や雑誌論文を読むことに抵抗のある学生が増えているように感じます。そこで、卒論指導の際、関心のあるいくつかのテーマのキーワードを新聞記事検索にかけ全体像のようなものをつかみ、その中から自分の興味を絞り込んでいくように、といった助言もしたりしています。現代社会学部では毎年卒業論文の最優秀賞・優秀賞を表彰していますが、今まで表彰されたものの中で新聞記事検索を使用している事例を以下に紹介し、この短文を閉じたいと思います。



(最) 優秀賞論文タイトル (受賞者)	新聞記事検索の使用方法
<b>「モンスターペアレント —キレル子どもからキレル親へ」</b> (最優秀賞2009年 岩川 玲王さん)	新聞のどの箇所(社説・投書・3面記事等)に「キレル子ども」「モンスターペアレント」が載っているか分析、投書欄が多いので年齢・職業別にさらに時系列的に分類、1998年と2002年に分断線が走っていることを見抜いて図式化。
<b>「変化する土下座への感情」</b> (優秀賞2012年 南部 地春さん)	パフォーマンスとしての土下座がメディアで踊っていることの違和感から「土下座」がどのような意味でいつ頃から登場してきたかの変遷をデータベースでつかみ、言葉が本来の意味から乖離していることを指摘。
<b>「就職における コミュニケーション能力とは何か」</b> (優秀賞2013年 東平 美穂さん)	「コミュニケーション能力」は元来語学力を指していた言葉であるが、企業では当たり前のように今日使われている。新聞記事検索を通じて、いかにこの言葉が新しく生み出されたものであるかを立証し、その内実のなさに疑問を提示。



## グループ学習室の求心力



国際文化学部国際文化学科 野中 哲照

長い間、「図書館のグループ学習室は、ゼミ等では使わない」というルールがありました。学生さんが自主的に学びのグループを結成し、そのための場として活用されることが望ましかつたからではないかと思われます。それをなし崩しにしてしまった犯人は、じつは、元図書館長であるわたくしです。



わたくしは、ゼミでグループ学習室を利用させていただいております。その最大の理由は、「本が近くにある」という点です。たとえば、「『源氏物語』の雲隠(くもがくれ)の巻は光源氏が逝去する内容なのですが、題名のみがあって本文はないのです」という話をすると、すぐに日本古典文学全集『源氏物語』を持ってきて、雲隠のところを開いて、学生さんに回覧することができます。また、「卒論のために便利な索引がありますので、地下の書庫に見に行きましょう」などと、ミニ図書館ツアーを行うこともあります。文学研究はもともと本が研究対象ですので、本が近くにあるということは何にも代えがたいメリットです。



ところが、図書館の本を利用しないときでも、日常的にグループ学習室でゼミを実施するようになりました。それは、「いつ、本を見てみたい時が訪れるかわからない」からです。図書館内でゼミを実施できれば、その不安感がなくなります。

もう一つ理由があります。授業するわたくしの都合だけでなく、ゼミがグループ学習室で恒常的に行われることによって、学生さんにとって図書館との心理的距離感が縮まります。図書館を、学食、学生ホールなどと同じように、学生さんにとって「行きやすい場所」にしたいのです。

国際文化学科の種村エイ子先生(図書館学)がいつもおっしゃっていることですが、「男女が結婚するときの神前・仏前のマナーは?」「子供が生まれるときの過ごし方は?」「生まれたあとの名づけは?」「子育ての悩みはどうしたらいい?」「家を建てるのに風水はどうしたらいい?」など人間生活の全般にわたる疑問に、図書館は答えてくれます。図書館をうまく活用できるかどうかで、その後の人生の豊かさが違ってくるといってもよいでしょう。

図書館は知恵の泉です。図書館が大学の中心にあり、図書館の中にゼミ室(演習室)が設けられているというのが、わたくしの考える図書館の理想像なのです。だから、グループ学習室に求心力を持たせたいのです。そこに一歩でも近づくために、今はグループ学習室をゼミで利用させていただいているというわけです。



# 図書館サポーター活動報告

## 活動報告



4月 新入生勧誘

5月 新入生歓迎会、  
選書ツアー

7月 第1回オープンキャンパス

10月 第3回オープンキャンパス

図書館サポーターは、図書館業務のお手伝いや月ごとのテーマ展示、選書ツアーなどの活動をしています。

また、オープンキャンパスでは様々なイベントを開催しました。

- ★クイズラリー
- ★アニメーション～犯人を捜せ!!～
- ★地下探検～宝探しゲーム～
- ★図書館サポーター紹介

来年はもっと楽しいイベントを開催しますので、お楽しみに!!



## 最後に

私たち図書館サポーターは、サポーター同士とても仲が良く、和気あいあいとした雰囲気の中で活動をしています。

本が好きな方、司書に興味がある方、私たちと一緒に活動してみませんか？

いつでも大歓迎です\*^^\*

ブログも更新していますので、ぜひ見てみてください。



<http://iuk-plus.net/tosyokan/>

# あなたのお悩み解決し隊!!



## 第11回: CiNii(サイニィ)の使い方

本学図書館のOPAC(蔵書検索システム)で本や雑誌を検索した時に、「図書館にはなかった、残念〜!」という経験はありませんか?

本学図書館にはない資料でも、他大学図書館などから本や雑誌記事(論文)のコピーを取り寄せることができます。その際、ぜひ活用してもらいたいのがデータベースの「CiNii」です。他大学図書館や博物館などが持っている本などを検索することができます。特定の資料を探しているときはもちろん、あるテーマでたくさんの資料を探したいときにもとても便利です。

では早速、使い方を説明します。

この画面を開くには・・・  
鹿児島国際大学HP→図書館→  
詳細検索(学术论文を探す  
(データベース))→  
CiNii

### 論文検索でキーワード「赤毛のアン」を検索した結果

1. 雑誌記事(論文)を探す時は①、本を探す時は②をクリックし、画面を切り替える。
2. フリーワード③に探している資料のキーワードを入力。
3. 検索④をクリック。
4. 検索結果の一覧が表示される。
5. 検索結果(ヒット件数)⑤が確認できる。
6. 表示⑥の並べ替えができる。

**Point!**

「被引用件数:多い順」にすると、他の論文により多く引用されている論文から順に表示される。

7. 詳細の確認はタイトル⑦をクリック。

日本の論文をさがす 大学図書館の本をさがす 鹿児島国際大学 [定額] 新規登録 ログイン English

論文検索 著者検索 全文検索 大学図書館の本をさがす >

赤毛のアン 検索

すべて ONIIに本文あり ONIIに本文あり、または連携サービスへのリンクあり 詳細検索

ユーザインタフェースデザインのリニューアル、CiNii Booksにおける、電子ジャーナル本文へのリンク機能の試行提供に

特別対談 村岡花子と短歌：『赤毛のアン』を支えたもの 佐佐木幸綱×村岡恵理

0 ツイート

各種コード

NII論文ID(NAID) : 40020180754

NII書誌ID(NCID) : AN00266283

本文言語コード : JPN

ISSN : 1342-5625

NDL 記事登録ID : 025751033

NDL 請求記号 : Z13-655

収録DB : NDL

8 佐佐木 幸綱 村岡 恵理 栗木 京子 [司会]

この論文をさがす

NDL-OPAC CiNii Books

9 収録刊行物

短歌  
短歌 61(10), 123-140, 2014-09  
角川学芸出版 編

Point!  
取寄せを依頼する場合は必ずNII書誌IDもメモする!!

8. 著者名は⑧、掲載誌名(収録刊行物)は⑨を確認。
9. 他大学からの取り寄せを希望する場合は、カウンター備え付けの申込書に必要事項を記入し提出。その際、必ずNII書誌IDも記入。



いかがでしたか？

まだCiNiiを使ったことのない方は、ぜひ利用してくださいね。  
使い方等わからないことはカウンター職員へお尋ねください。



## Library Report



### サービス内容変更のお知らせ

- 3階のカウンター受付業務が、2階カウンターへ移動しました。

AV資料の視聴および、3階グループ学習室・研究個室利用、付録資料閲覧・視聴の申込は、2階カウンターへお申込みください。
- これまで本に貼付していた返却期限票を、**しおりタイプ**に変更しました。貸出手続き時に、1枚挟んでお渡しています。押印してある日付までに返却をお願いします。
- 1階・地階の資料を2階・3階フロアで閲覧する際の手続きが、本に関しては変更になりました。**「書庫資料」**票を本に挟んでお渡しいたします。閲覧が終わりましたら、**2階カウンター**へお返しください。



この本の返却期限日は

【貸出期間は2週間】  
【2回まで更新可能】  
更新には  
本と学生証が必要です

遅れないよう  
期限内に  
返却してね

自分の利用状況確認は  
QRコードから  
「MyLibrary」へアクセス!!

※ログインの 利用証番号と  
パスワードは、両方とも  
学籍番号です。

鹿児島国際大学附属図書館



## Library Report

### 新スタッフ紹介

課長：小林 和代

11年目に出戻った、新人とは言い難い古参者です。本に囲まれた環境にどっぷり浸かってしあわせ一杯…と思いきや、あの頃の図書館と違い所蔵は70万冊を超え、ギューギュー詰めとなっております。3000本の書架の収納力を、5%アップさせようと四苦八苦している今日この頃。皆様のご来館を心よりお待ちしております。

情報サービス係：上原 愛

図書館2階レファレンスカウンターで、主にILL(相互利用)業務を担当しております。利用者の方々が、学術研究や学びに必要な資料や情報をスムーズに得られるよう、支援に努めていきたいと思っております。昨年度4月に異動してきたものの下半期は学外に出向で不在だったため、ご挨拶が今になりました。ご来館の際にわからないことがありましたら、どうぞお気軽に声をおかけください。

総務係：平 愛莉沙

今年度の4月から図書館の総務係に勤務させていただいております。主に図書の発注、受入をしております。昨年度の本学の司書講習で司書資格を取得したばかりの新人で、まだまだ未熟なところだらけですが、皆様の温かいご指導のもと成長しております。一生懸命頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



### 編集後記

図書館だより第35号を発行いたしました。ご覧いただき、ありがとうございます。  
今回紹介しているデータベースやグループ学習室、そして図書館サポーターの活動等々は、日頃の図書館の一面です。図書館には、まだまだいろいろな利用の仕方が詰まっています。「そうだ！図書館へ行こう」と思いつく図書館を目指したいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。

図書館だより－鹿児島国際大学附属図書館報－ 第35号 2015年1月31日発行

鹿児島国際大学附属図書館 〒891-0197 鹿児島市坂之上8-34-1

TEL:099-263-0732 FAX:099-261-1198 E-mail:tosyokan@ofc.iuk.ac.jp

(URL) <http://www.iuk.ac.jp/tosyokan/index.php> (携帯URL) <http://lbweb.iuk.ac.jp/nbp/>